# 産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県福井市大手3丁目14番19号

氏名 株式会社三木組 福井支店 支店長 酒井 正俊

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0776-22-7567

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

理に	に関する計画を作成したの	で、提出します。
事	業場の名	称 株式会社三木組 福井支店
事	業 場 の 所 在	地 福井県福井市大手3丁目14番19号
計	画期	間令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	亥事業場において現に行っ	ている事業に関する事項
	①事業の種類	D06 (総合工事業)
	②事 業 の 規 模	元請完成工事高 10億円
	③従 業 員 数	1 5 名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	【工作物の新築、改築又は除去における処理工程】 (がれき類) 再生処理業者に委託→再生砕石として再資源化する (木くず) 再生処理業者に委託→燃料チップとして再資源化する (廃石膏ボード) 再生処理業者に委託→西膏ボード原料、自弁改良材として再資源化する (廃7・ラスチック類) 中間処理業者に委託→固形燃料に再資源化及び埋立処分する (混合廃棄物) 中間処理業者に委託→出来る限り分別を行い、上記にて再資源化する

産業	<b>É廃棄物の処理に係る</b>	管理体制に関する事項
	(管理体制図)	-tv.
	福井支店IS0管理責任 ↓	:有 ———
	工事部工事課ISO責任	者
	各作業所ISO責任者(	(所長)
	ーーーー→ ーーー・ 作業所マニフェスト打	 担当者
産業	 É廃棄物の排出の抑制	 に関する事項
		【前年度(令和6年度)実績】
		産業廃棄物の種類 別表1の通り
		排 出 量 1,657.32 t
		「(これまでに実施した取組)
	①現状	・資材の納入において、注文時に梱包の簡素化を依頼し、産廃物排出量
		の低減、抑制に努めてきた。
		【目標】
		産業廃棄物の種類 別表1の通り
		排 出 量 1,492.00 t
		(今後実施する予定の取組)
	②計画	・作業所に納入された資材の梱包の状況を確認し、過剰と思われる梱包 があれば、再度依頼し、更なる産廃物量の低減、抑制に努めていく。
産業	L É廃棄物の分別に関す	L ろ事項
土木	(元来初·2万万代C)	- プログログログログ (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	①現状	・各作業所において複数の産廃ボックス設置が可能な場合は、木くず、
	少先扒	鉄くず、石膏ボード等、各ボックスに分別表示板を取付し、分別を実施 している
		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	@#J T	・毎月の安全パトロール時に上記について実施状況を確認する
	②計画	・石膏ボードにおいては、濡れると再資源化の方法により再資源化出来 ない場合もあるので、濡らさないよう保管出来ているか確認する
1		STATE OF COLUMN 2 CO. STATE HAVE A DA REPUTATION OF THE PROPERTY OF THE PROPER

【前年度(  年度)実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
①現状 (これまでに実施した取組) ・資材の納入において、注文書にて可能な限り梱包の省物の削減に努める	省力化を依頼し、産廃
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
グラーダング (外後実施する予定の取組) ・上記抑制の依頼に対し、実施状況を確認し、過剰梱包を依頼する	<b>辺があれば再度省力化</b>
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	
【前年度(  年度)実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
自ら中間処理により減量した 直 業 廃 棄 物 の 量	t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
自ら中間処理により減量する ・ ** ** 原 京 ** ** の 見	t
②計画	

自身	っ行う産業廃棄物の	埋立処分又は海洋投入処	分に関する事項	
		【前年度(  年	度)実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は		
		海洋投入処分を行った	t	t
	①現状	産業廃棄物の量		
		(これまでに実施した取	組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は		
		海洋投入処分を行う	t	t
	②計画	産業廃棄物の量		
		(今後実施する予定の取	組)	
産業	美廃棄物の処理の委	託に関する事項		
		【前年度(令和6年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別表2の通り	
		全処理委託量	1,657.32 t	t
		優良認定処理業者への		
		処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への	1 057 00	
		処 理 委 託 量	1,657.32 t	t
		認定熱回収業者への		
		処 理 委 託 量	t	t
	①現状	認定熱回収業者以外の		
		熱回収を行う業者への	t	t
		処 理 委 託 量		
		(これまでに実施した取 ・再生利用業者への委託	組) を行い、再資源化に努め	てきた。
		11-11/11/11 1 2 2 11		

	(>1-	* **	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2の通り	
	全処理委託量	1, 492.00 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,492.00 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	
	(今後実施する予定の取組) ・再生処理業者への委託を の効率化を図るべく、各作 別化を積極的に実施する。	継続すると共に、委託先に	
※事務処理欄			
,			

t t t 别分

#### 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【 前年度実績 】	対象其	対象期間:令和6年4月1日~令和7年3月31日											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
産業廃棄物の種類	チッ クラ 類ス	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	陶磁器くず	ボード	がれき 類	混合廃棄物	混合廃棄物	汚泥	廃 石綿等	合計
排出量( t )	20.04	0.30	175.65	_	5.88	1.35	10.63	1403.52	7.86	31.85	_	0.24	1,657.32
(これまでに実施した取組)		•	•		•	•	•		•	•		•	•
	産業廃棄物の種類 排出量( t )	1         チ廃ップクラ類ス         排出量(t)       20.04	1     2       手廃     紙       グラ     ず       類ス     20.04     0.30	1     2     3       手廃     紙     木       ップ     く     クラ       類ス     ず       排出量(t)     20.04     0.30     175.65	1     2     3     4       手廃     紙     木     繊       ツプ     く     く     維       クラ     ず     ず     ぐ       排出量(t)     20.04     0.30     175.65     -	1     2     3     4     5       子廃     紙     木     繊     金       グラ     ず     ず     ぐ     ぐ       排出量(t)     20.04     0.30     175.65     -     5.88	1     2     3     4     5     6       手廃     紙     木     繊     金     陶ガ       ペララ     ず     ず     く     と     器ス       ガス     ず     ず     ず     ぐ     ず       排出量(t)     20.04     0.30     175.65     -     5.88     1.35	1     2     3     4     5     6     7       手廃     紙     木     繊     金     陶ガ     ボ廃       ツプ     く     4     人     展     磁ラ     日石       クラ     ず     ず     ず     ぐ     ボ旁       類ス     ず     ず     ず     ぐ     ず       排出量(t)     20.04     0.30     175.65     -     5.88     1.35     10.63	1     2     3     4     5     6     7     8       チ廃 紙 ツプ く く 維 属 磁ラーム デ膏 ず ぐ ず ず ぐ ず ず ぐ ず ず く ず ず く ず ず く ず ず く ず ず く ず ず く ず ず が ま 類     1     1     2     3     4     5     6     7     8       排出量(t)     20.04     0.30     175.65     -     5.88     1.35     10.63     1403.52	1     2     3     4     5     6     7     8     9       チ廃 紙 ツプ く ら 維 属 磁ラーム ララ ず ず く ず ず ず ず ず ず ず ず ず ず ま 物     本 属 器 ス ド 高 を 廃型 類 物       排出量(t)     20.04     0.30     175.65     -     5.88     1.35     10.63     1403.52     7.86	1     2     3     4     5     6     7     8     9     10       手廃 紙 ツプ く く 維 タラ ず ぐ ず ず く ず ず く ず ず よ ま 物     本 陽ガ ボ廃 が 混安 混管 合定 合理 暴ス ド膏 き 廃型 類 策 物     温度 品質 水水 と 原型 類 策 物     本 クラ 東 物       排出量(t)     20.04     0.30     175.65     -     5.88     1.35     10.63     1403.52     7.86     31.85	1     2     3     4     5     6     7     8     9     10     11       手廃 紙 ツプ く ら 維 タラ で す ず く ず ず ず く ず ず ず ま 物     本	1     2     3     4     5     6     7     8     9     10     11     12       手廃 紙 ツプ く クラ ず ず く ず ず ず く ず ず ず ま 類 ス     本 属 磁ラ 日 石 れ 合定 合理 原型 策 物     温度 活度 汚 廃 石 廃型 策 物     本 条 報告     本 条 報告     本 条 第 条 第 条 第 条 第 条 第 条 第 条 第 条 第 条 第 条

・資材の納入において、注文時に梱包の簡素化を依頼し、産廃物排出量の低減、抑制に努めてきた。

	【目標】	【目標】 対象期間:令和7年4月1日~令和8年3月31日												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2計画	産業廃棄物の種類	チック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	陶磁器くず	ボード	がれき類	混合廃棄物	混合廃棄物	汚泥	廃石綿等	合計
	排出量( t )	18.04	0.27	158.09	0.39	5.30	1.21	9.57	1263.17	7.07	28.67	_	0.22	1,492.00

(今後実施する予定の取組)

・作業所に納入された資材の梱包の状況を確認し、過剰と思われる梱包があれば再度依頼し、更なる産廃物排出量の低減、抑制に努めていく。

## 別 表 2

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度実績】	対象其	胴: :	令和5年	F4月1	日~令	和6年	3月31	日					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	産業廃棄物の種類	チック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	陶磁器くず	ボ <u>ー</u> ド膏	が れ き 類	混合廃棄物	混合廃棄物管理型	汚泥	廃石綿等	合計
	排出量( t )	20.04	0.30	175.65	-	5.88	1.35	10.63	1403.52	7.86	31.85	_	0.24	1,657.32
①現状	優良認定業者への処理委託料													
①現1人	再生利用業者への処理委託量	20.04	0.30	175.65	_	5.88	1.35	10.63	1403.52	7.86	31.85	_	0.24	1,657.32
	認定熱回収業者への処理委託料													
	認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量													
	(これまでに実施した取組)			•										I.
	- 再件利用業者。の承託な行い、再	次活ル	1一女又 よ	アキナ										

・再生利用業者への委託を行い、再資源化に努めてきた。

	【目標】	対象期	間:1	令和6年	F4月1	日~令	和7年	3月31	日					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		チ廃 ップ	紙	木	繊維	金属	陶ガ 磁ラ	ボ廃	が	混安	混管	汚泥	廃 石	合
	産業廃棄物の種類	クラ	ず	ず	作く	周く	器ス	石ド膏	れ き	合定 廃型	合理 廃型	池	綿	
		類ス			ず	ず	<		類	棄	棄		等	計
							ず			物	物			
	排出量( t )	18.04	0.27	158.09	0.39	5.30	1.21	9.57	1263.17	7.07	28.67	-	0.22	1,492.00
②計画	優良認定業者への処理委託料													
<b>€</b> ni⊞	再生利用業者への処理委託量	18.04	0.27	158.09	0.39	5.30	1.21	9.57	1263.17	7.07	28.67	ı	0.22	1,492.00
	認定熱回収業者への処理委託料													
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	·												
	_													

(今後実施する予定の取組)

・再生処理業者への委託を継続すると共に、委託先に対する収集運搬、分別の効率化を図るべく、各作業所内では状況に応じて可能な限り、場内での分別化を積極的に実施する。

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。